

卒業に必要な単位数（卒業要件）

国際学部が開設する授業科目は、大きく「教養教育科目」と「専門教育科目」に分けられ、これらの科目はさらに小さく区分されています。卒業するためには、合計で124単位以上が必要ですが、それぞれの科目区分ごとに取らなければならない単位数があり、このルールを守らなければ卒業することはできません。

なお、それぞれの科目区分から取るべき単位数を越えて修得した単位は、「自由選択科目」としてカウントされます。

国際文化学科

授業科目の区分			単位数	備考	
国際文化学科	教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	8単位以上	42単位以上
			ライフデザイン科目	2単位以上	
			思想と論理科目	2単位以上	
			沖縄理解科目	2単位以上	
			健康スポーツ科目	2単位以上	
		共通選択科目	外国語科目	10単位以上	
			国際理解科目	4単位以上	
			人文科学科目	4単位以上	
			社会科学科目	4単位以上	
	専門教育科目	専門基礎科目	専門基礎科目	14単位以上	66単位以上
			専門発展・応用科目	40単位以上	
			演習科目	12単位以上	
	自由選択科目		自由選択科目	16単位以上	16単位以上
合計			124単位以上	124単位以上	

重要：「単位数欄」の「〇〇単位以上」の履修を守らなければ、仮に「備考欄」の最後の行にある124単位を修得しても卒業できません。

国際観光産業学科

授業科目の区分		単位数	備考	
国際観光産業学科	共通コア科目	アカデミックスキル科目	8単位以上	42単位以上
		ライフデザイン科目	2単位以上	
		思想と論理科目	2単位以上	
		沖縄理解科目	2単位以上	
		健康スポーツ科目	2単位以上	
	共通選択科目	外国語科目	10単位以上	
		国際理解科目	4単位以上	
		人文科学科目	4単位以上	
		社会科学科目	4単位以上	
	専門教育科目	自然科学科目	4単位以上	
		専門基礎科目	必修 6単位以上 選択必修、選択 8単位以上	66単位以上
		専門発展・応用科目	必修 8単位以上 選択必修、選択 32単位以上	
		演習科目	12単位以上	
自由選択科目	16単位以上	16単位以上		
合計		124単位以上	124単位以上	

重要：「単位数欄」の「〇〇単位以上」の履修を守らなければ、仮に「備考欄」の最後の行にある124単位を修得しても卒業できません。

成績評価の対象（「欠席及び成績評価の対象等に関する申合せ」参照）

学生は登録した科目の授業に出席しなければなりません。

本学における成績評価の対象は、原則として授業時間の3分の2以上出席した者とされています。

成績評価とGPA

本学の評価基準は次のとおりです。成績評価は、学則第16条に基づき規定されており、59点以下は不可とし、再履修の対象となります。

評価	GP	成績(素点)	基準	判定
秀 (S)	4	100~90点	基準を大きく超えて優秀である	合格
優 (A)	3	89~80点	基準を超えて優秀である	
良 (B)	2	79~70点	望ましい基準に達している	
可 (C)	1	69~60点	単位を認める最低限の基準には達している	
不可 (F)	0	59点以下	基準に達していない	不合格

<参考資料> 「名城大学学則」

(成績評価)

第16条 授業科目の成績は、秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）及び不可（59点以下）の5種類の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし不可を不合格とする。ただし、実習の場合は、合格又は不合格の評語をもって表すことができる。

本学のGPA（Grade Point Average＝評定平均値）は、成績評価「秀（S）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（F）」を4～0までのGrade Point（GP）に置き換え、以下の計算式で算出します。（教職科目は除く）

$$\text{GPA} = \frac{(\text{修得単位数} \times \text{GP}) \text{の合計} = \text{②}}{\text{履修登録科目の単位数合計} = \text{①}}$$

GPA算出例：

科目名	単位数	評価	GP	単位数×GP
●●基礎	2	秀 (S)	4	8
○○総論	2	良 (B)	2	4
△△実技	1	優 (A)	3	3
履修登録科目 単位数合計①	5	修得単位×GP の合計②		15
GPA		$\text{GPA} = \frac{15}{5} = 3.0$		

GPAは大学の奨学金の判断基準となることや、教職希望者の教育実習及び協定校留学等の可否を決める審査等に利用されます。学期末に配付される成績表にGPAが記載されています。GPAアップを学修目標のひとつとして活用します。

シラバスとは

シラバスは、履修計画を作成する上で重要な資料です。シラバスとは、授業の目標、授業で扱う内容、授業の進め方、評価方法など授業の全体像を示す文書のことです。シラバスには、授業選択のガイド、掲載された教育内容を提供するという学生と大学間の合意事項、学修効果を高める文書、授業全体をデザインする文書、カリキュラムに一貫性をもたせるツール（前提科目、前提条件の提示など）など様々な役割があります。

名城大学のシラバスには、次の14項目、①科目名、②担当教員名、③担当教員のメールアドレスと研究室、④取得単位数、⑤開講学期、⑥登録人数、⑦オフィスアワー、⑧授業の概要、⑨到達目標、⑩ディプロマ・ポリシー（DP）との関連性、⑪授業の計画と内容と事前・授業学修、⑫テキスト・参考文献、⑬成績評価の方法、⑭履修の条件、⑮その他（講義に臨む姿勢）が記載されています。

特に重要な次の9項目（授業の概要、到達目標、ディプロマ・ポリシー（DP）との関連性、授業計画の内容、テキスト・参考文献、事前・事後学修、成績評価の方法、履修の条件、その他）の簡単な説明を表に示します。